

投票環境の向上方策等に関する研究会（第9回） 議事要旨

1 日時

平成27年10月20日（火）10:00～12:00

2 場所

総務省 11階会議室

3 出席者

（委員）磯部座長、秋野委員、卯本委員、大橋委員、小尾委員、
河村委員、小島委員、品田委員、清水委員、廣井委員、
望月委員、山崎委員

（総務省）大泉選挙部長、赤松選挙課長、高橋管理課長

（外務省）中根在外選挙室長（オブザーバー）

4 議事要旨

各議題の前に事務局より議題の概要を説明

<在外選挙の利便性向上について>

- ・ 国内における最終住所地を在外選挙人名簿登録地とする考え方は維持しつつ、より簡易な方法で在外選挙人名簿の登録申請ができるようにすべきではないか。
- ・ 国外からの転入後再度国外へ転出した者がより簡易に再び在外投票ができるようにするには、「表示の消除」を使うことが考えられるのではないか。
- ・ 帰国により在外選挙人名簿登録が抹消されることを選挙人に周知するために、国外から転入した全ての者に対し、転入届を受理した市町村の窓口でお知らせをすることはできるのではないか。

<インターネット投票の論点整理について>

- ・ 選挙人名簿対照にあたっては、各自治体のデータベースを結ぶという形態よりも全国で統合したデータベースを構築する方が望ましいのではないか。
- ・ 選挙人名簿対照や本人確認がICT化される方向であれば、投票のみを紙による自書として残すことには違和感がある。タブレットを活用して画面上に直接記載させてはどうか。
- ・ 画面上の候補者情報をどのような順番にするかや投票情報を事後的にいかんにか検証するかといった課題に対しては、最終的に紙で打ち出されるといった仕組みも考えられないか。

- ・ インターネット投票の導入にあたっては、名簿管理や本人確認事務などのシステム構築をどのようなスケジュールで行うか、時間軸での具体的な検討が重要ではないか。
- ・ 在外投票では、投票用紙がなかなか手元に届かないといった課題があることから、例えば、遠隔地における投票に先行的にインターネット投票を導入し、利便性を向上させていくことは考えられないか。